

令和6年度 第3回学校運営協議会議事録（発信者ごとの要点議事録）

日時：令和6年10月19日（土）
場所：田無第一中学校 校長室
出席者：高橋 綾委員 瀬沼 洋子委員 鶴野 美代子委員 鈴木 隆文委員 小野 千代乃委員 辻 康一委員 歌田 多恵委員 欠席者1名 出席者が過半数を超えているため、本会議は成立
第3回学校運営協議会を始めます。 次第1 校長挨拶 ご多用の中ありがとうございます。 本日の参観について。1・2時間目は、一年生は西東京市のお宝を紹介、二年生は職場体験の報告をしています。 3時間目は合唱コンクール練習です。生徒たちは練習を積み重ねてきました。クラスの中ではいろいろなことが起こるのですがそれを乗り越えて、子供たちの心に残る合唱コンクールになるといいなと思っています。 来年度の会場について。所沢ミューズだと多くの保護者の方に入っていただけるのですが、抽選は外れました。ルネの抽選も外れてしまいました。来年度は狭山の市民文化会館を考えています。ルネよりも少し座席が多いです。もし外れたら、学校での開催になります。武蔵野はバスの移動になってしまうため難しいです。 次第2 夏休みの学習教室の報告（副校長） 3日間、生徒70名が参加しました。ボランティア8名に協力を得ることができました。近隣の大学生からのボランティアの応募がありました。生徒たちからの質問が少なく、ボランティアの方々が何をしたらよいのか困ってしまう場面もありました。生徒へどのような学習をするかとよいかを十分に伝えられていなかったためです。来年度以降も続けて行きたい活動ですので、改善していきたいと思っています。 次第3 第1回学校評価アンケートの結果の報告（副校長） アンケートは生徒・保護者・教職員を対象に7月に実施。 結果の考察について ・自分に合った勉強法の工夫について 認識の差がある項目。保護者が認識しづらい項目であるのではと思いますが、授業で学習した内容を家庭でも復習を習慣づけしたり、単元ごとの理解度確認カードや、テスト前の計画表を活用したり、質問教室などの取組みも行っています。保護者の方々にもカードや計画表を通じて子供の学習について確認をしていただき、生徒と保護者の学習理解の認識の差を少なくして行きたいと思っています。 ・学校はいじめがなく安全な場であるか。 いじめ撲滅・予防に向け月毎アンケート、対応、ケアを継続していきます。保護者へは生活指導部通信で通知します。 ・ボランティア活動への参加について 昨年度から課題となっていた項目です。校外でのボランティア活動については、昼の放送で報告し、意識づけに努めています。外に出てやるボランティアだけでなく、校内での掃除などのボランティア的な活動、人のためにできることをやるという意識を植え付けていきたいと思っています。 ・デジタル機器の利用について

田無一中ではDC教育について推進しています。その成果なのか生徒の肯定的な回答は8割を超えています。授業でも活用する場面が増えてきていますが、家での利用を見ている保護者との認識には差がありました。

・職員の働き方改革について

多くの教員は有給休暇の取得は5日程度できています。在校時間を意識し、業務の精査、軽減を再考、より良い職場づくりを続けて行きたいと思っています。

今年の課題について（校長）

- ・不登校を減らそうと取り組んでいます。わかる授業で子供を引き付ける取組みを行っています。

全国学力・学習状況調査について（校長）

- ・16番「学校に行くのが楽しいですか。」平均より上。
32番の自分に合った教材、学習時間と16番はリンクしています。
授業に関する研修をしています。教員同士でテーマ別にグループを作り、授業を参観しあい、授業改善を行っています。
- ・9番「自分にいいところがありますか？」10番「先生がいいところを認めてくれますか？」この2問はリンクしています。本校は高い数値ではありますが、100%ではありません。もっと考えていく必要があると考えています。
- ・25番「地域や社会のために何かしたいと思いますか？」が低い。
これは本校の課題です。地域のために何ができるのか考えていくことができるようにしたいと思っています。
- ・先ほどの不登校について。不登校の出現率7.6%が4.0%に下がりました。休んでいた生徒が来られるようになったケースがありました。夏休み後5%くらいに上がりましたが、夏休み後、どのくらい寄り添っていけるかが課題だと考えています。
- ・毎月のアンケートについて
不安感が大きい。耐える力、耐性をつけていく必要があります。

委員・子供たちの悩みはどんなことですか？

いろいろです。家庭のこと、勉強のこと、友達のことなど。何かわからないけど不安という生徒もいます。

次第4 情報交換

委員 人のストレスの9割は人間関係といわれますが、昔は何かあっても切り捨てられた。

今は切り捨てられないから学校で対応することになり大変なのではないかと思う。社会人になったときにどうなるのか。

委員 9月に2時間授業から始めることは、有効でしたか。

校長 生徒にとっても教員にとってもプラスだったと考えます。話をしっかり聞くことができました。

・興味、自分に合った勉強について

委員 一昔、理論も分からず丸暗記してやっていたことが、You Tube でわかりやすくやっています。うまく取り入れていけるといいのではないかと思います。おもしろさを感じさせることが大事だと思います。

人のため、社会のためという考え方が減ってきているように感じます。医学部離れもあります。看護師の資格をとっても会社員になる人もいます。がん教育や職場体験の受け入れなど行っています。少しでも興味をもってもらいたいと思います。得だ損だの意識ではなく人助けができるようになってほしいと思います。

委員 10月5日かしわわくわく子ども縁日ボランティアの参加に感謝しています。
いきいきとして会場準備から手伝ってくれたり、盛り上げてくれたり、楽しく行うことができました。大人も日頃中学生と関わるのが少ないですが、楽しくできました。

小学校でも不登校が増えています。2学期は課題だと思います。2学期は長いのでついていけないようです。学校を居場所として思ってもらえたらと思います。

校長 ボランティア活動で大人や小さな子供と接することが経験として大きいと思います。自己肯定感を高めることができます。昼放送で報告会をし、これからも広めていきたいと思っています。

委員 中2の子どもが職場体験で品出しを担当し、褒められ、すごく楽しかったと言っていていい一週間だったようです。それから勉強にも取り組むようになりました。

1年のときに成績が良くなかったのですが、自分が何をやりたいのかわからない、何に役に立つのかもわからないので、聞いていても面白くないと言っていました。

2年生から塾に入り、塾に行って誰かに教えてもらうことで勉強が面白くなった。

いろんな大人にかかわってもらって変わってきたように感じます。

大人の助言と環境で子供はかわると感じています。学校の先生の助言や環境に育てていただいています。ありがたいと思っています。

ボランティア活動について

委員 ・育成会で運動会やジャガイモ堀り企画。

ボランティアの中学生にやることを説明してもなかなか伝わらないことが多いです。一つ一つ細かく言わないと動けない様子が見られます。ボランティアとしてPTAも先生方の参加も少なくなっています。

対策例案として

委員 広域災害訓練では、シナリオを作って役割を与えています。動きや状況に応じて「自由に対応」を加えると動きが広がります。

委員 保育園では、アクションカードを作っています。その裏にやることが明記されています

委員 ・育成会について

会員数減だが、おやじの会が活発に活動しています。が予算がないため育成会とコラボで動き、それで予算を確保しています。

委員 育成会には4名しかいない。そのほかの団体の協力で動いています。

委員 育成会の活動に中学校のPTAは参加していますか？

校長 しています。PTAも活動が厳しいということを聞いています。

委員 お父さんが活動を求めている様子も見受けられます。

委員 小学校のおやじの会に声をかけてみたらどうですか？

委員 主体的にやってくれる人がいたら、おやじの会のような方々にやっていただければいいですね。

以上を持ちまして、第3回学校運営協議会を終了いたします。